

病害虫発生予察情報

東京都病害虫防除所

向こう1ヶ月(10月)の予報

〒190-0013 立川市富士見町 3-8-1

Tel 042-525-8236 Fax 042-529-0943

平成23年度 予報第6号

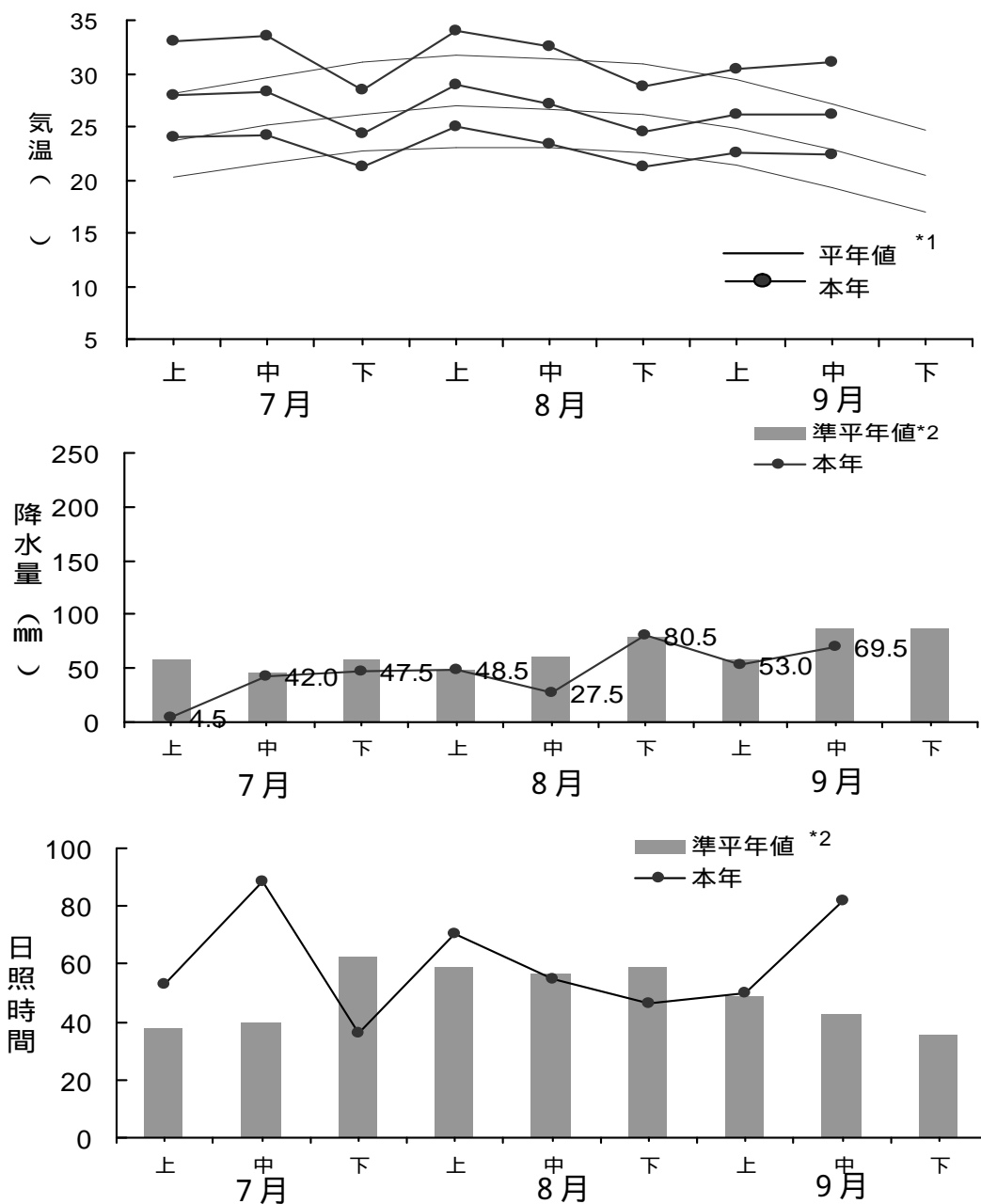
<http://www.jpnpn.ne.jp/tokyo>

e-mail: S0200303@section.metro.tokyo.jp

【気象予報】2011年9月23日 気象庁 地球環境・海洋部発表, 関東甲信地方の1か月予報より

確率	要素	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
	気温	20	30	50
	降水量	30	30	40
	日照時間	40	30	30

【気温・降水量・日照時間の経過】 準平年値と本年の9月中旬までのデータを示した。
(東京都府中市 気象庁気象観測所データ)



*1: 1981-2010 の平均値, *2: 1987-2010 の平均値

トマト黄化葉巻病（TYLCV）の発生が多くなっています！！

トマト黄化葉巻病の発生が増加傾向にあります。特に、9月の定期巡回調査では収穫終了後、放置されたままの露地トマトや野良生えトマトで本病に感染した株が多く認められています。

このような株は抑制及び促成長期栽培での感染源となりますので、速やかに抜き取り、ビニール等で密封し完全に枯死させてから廃棄するようお願いいたします。

育苗施設やハウス開口部は0.4mm ネットで被覆し、媒介虫であるタバココナジラミの侵入を阻止し、感染を防止しましょう！

果樹の病害虫（各根拠に記した（ ）内記号は発生助長要因の強度を示す）

1. カメムシ類（チャバネアオカメムシ・クサギカメムシ）

予報内容

発生量 少

予報の根拠

1) 予察灯及びフェロモントラップによるチャバネアオカメムシの誘殺数は少ない。(-)

2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

1) 防除指針に従い防除する。

茶樹の病害虫

1. 炭疽病

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

1) 巡回調査では各地とも発生は少ない。(-)

2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は多いと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

1) 発生を認めたら防除指針に従い早めに防除する。

2. カンザワハダニ

予報内容

発生量 少

予報の根拠

1) 巡回調査では寄生葉率1.7%で少ない。(-)

2) 年間の発生消長は今後やや増加傾向を示す(越冬世代となる)。(+)

3) 気象予報によれば気温は高く、降水量は多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

1) 発生の多い園では防除指針に従い防除する。

野菜の病害虫

1. キャベツ、ブロッコリー、ハクサイ、ダイコンの細菌病（軟腐病、黒腐病、黒斑細菌病）

予報内容

発生量 並

予報の根拠

1) 巡回調査ではいずれの作物でも発生はやや少ない。(-)

2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は多いと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。
- 2) 病原細菌は害虫の食害痕などから侵入するので、害虫の防除を徹底する。
- 3) 台風や強風の後は直ちに薬剤を散布する。

2. コマツナおよびカブの炭疽病

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

- 1) 巡回調査では各地とも発生は平年並である。(±)
- 2) 気象予報によれば、気温は高く、降水量は平年多いと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い初期防除に努める。

3. コマツナおよびカブの白さび病

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では各地とも発生は少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば、気温は高く、降水量は多いと予想される。(+)
- 3) 今後、増加期に向かう。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い初期防除に努める。

4. アブラナ科野菜のコナガ

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、全般的に発生は少なかった。(-)
- 2) 予察灯調査およびフェロモントラップ調査では誘殺数は少ない。(-)
- 3) 年間の発生消長は今後やや増加する。(+)
- 4) 気象予報によれば気温は高く、降水量は多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針を参照して作物ごとに防除する。

5. アブラナ科野菜のハイマダラノメイガ(ダイコンシンクイムシ)

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地ともアブラナ科作物での発生は平年並である。(±)
- 2) 年間の発生消長は今後減少に向かう。(-)
- 3) 気象予報によれば気温は高く、降水量は多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 作物ごとに防除指針に従い防除する。また防除指針のハイマダラノメイガの項を参照する。
- 2) 播種後から寒冷紗などの被覆資材により成虫の侵入を防止する。

6. アブラナ科野菜のヨトウガ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、寄生株率 1.0% (キャベツ) で少ない。(-)
- 2) フェロモントラップ調査では誘殺数は平年並である。(±)
- 3) 気象予報によれば気温は高く、降水量は多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針を参照して作物ごとに防除する。

7. アブラナ科野菜のキスジノミハムシ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では各地とも発生は平年並である。(±)
- 2) 年間の発生消長は、今後減少に向かう。(-)
- 3) 気象予報によれば気温は高く、降水量は多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。
- 2) 播種後から寒冷紗などの被覆資材により侵入を防止する。

8. ナスうどんこ病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では各地とも発生はやや少なかった。(-)
- 2) 気象予報によれば、気温は高く、降水量は多いと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い初期防除に努める。

9. キュウリ褐斑病(施設)

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では各地とも発生はやや少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば、気温は高く、降水量は多いと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い初期防除に努める。

10. キュウリうどんこ病(施設)

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生はやや少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は多いと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。
- 2) 防除の際には、葉裏面にも薬剤が良くかかるように散布する。
- 3) 施設内の過湿に注意する。

11. ホウレンソウべと病

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば、気温は高く、降水量は多いと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 発生を認めたら防除指針に従い防除する。
- 2) 施設では、密植・過灌水に注意する。

1 2 . ネギさび病

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも新葉での発生は少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば、気温は高く、降水量は多いと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 発生を認めたら防除指針に従い早めに防除する。

1 3 . ネギ黒斑病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では各地とも発生はやや少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば、気温は高く、降水量は多いと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い初期防除に努める。

1 4 . ネギハモグリバエ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では発生量は平年並である。(±)
- 2) 年間の発生消長は、今後減少に向かう。(-)
- 3) 気象予報によれば気温は高く、降水量は多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

1 5 . ネギアザミウマ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では発生量はネギでは平年並である。(±)
- 2) 年間の発生消長は、今後減少に向かう。(-)
- 3) 気象予報によれば気温は高く、降水量は多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針を参考にして防除する。

1 6 . 野菜共通 コナジラミ類

予報内容

発生量 オンシツコナジラミ：やや少
タバココナジラミ：やや多

予報の根拠

- 1) 巡回調査では発生量はオンシツコナジラミは少なく、タバココナジラミは多

い。(- ~ +)

2) オンシツコナジラミは今後増加期にあたる。(+)

3) 気象予報によれば気温は高く、降水量は多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

1) 0.4mm の目合いの防虫ネットや UV カットフィルムの展張など、物理的防除に努める。

2) 都内ではタバココナジラミのうちバイオタイプ Q が占めているため、タイプ Q に有効な薬剤を選択し、適正に使用する。

3) トマト黄化葉巻病発病株は発見次第、直ちに抜き取って処分する。

17. 野菜共通 ハスモンヨトウ

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

1) 巡回調査では、発生量は平年並である。(±)

2) フェロモントラップ調査では、誘殺数は多い。(+)

3) 今後も発生は継続する。(±)

4) 気象予報によれば気温は高く、降水量は多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

1) 卵塊で産卵されるので若齢幼虫が分散しないうちに葉ごと切除し処分する。

2) 発生を見たら防除指針に従い防除する。

18. 野菜共通 オオタバコガ

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

1) 巡回調査によると各地とも寄生株率はトマトでは 39.0 % (トマト) と例年に比べ多く、キャベツでは 2 % で平年並である。(+)

2) フェロモントラップ調査の誘殺数は多い。(+)

3) 気象予報によれば気温は高く、降水量は多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

1) 果菜類の幼果や花き類の蕾を好むため、被害果や被害花蕾は放置せず、速やかに処分する。

2) キャベツ、ハクサイ、トマト、ナス、インゲン、ピーマンなどのほか、バラ、キク、カーネーションなども加害する。

3) 防除指針を参考にして防除する。

花きの病害虫

1. キクのアブラムシ類 (ワタアブラムシ・キクヒメヒゲナガアブラムシ)

予報内容

発生量 並

予報の根拠

1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(-)

2) 年間の発生消長から見ると今後増加期に当たる。(+)

3) 気象予報によれば気温は高く、降水量は多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

1) 防除指針に従って薬剤を散布する。

2. 花き共通 灰色かび病

予報内容

発生量 やや少
予報の根拠

- 1) 巡回調査では発生量は少ない。(-)
- 2) 今後、増加期に向かう。(+)
- 3) 気象予報によれば、気温は高く、降水量は多いと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従って薬剤を散布する。
- 2) 施設では朝晩の加湿・結露に注意する。
- 3) 同一系統の薬剤を連用せず、ローテーション散布を行う(薬剤耐性菌の発生回避)。

テレフォンサービス
042(525)8407

防除所ホームページアドレス
<http://www.jppn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予報，発生状況，防除方法などをお知らせ
しています。

防除指針オンライン版平成23年度版公開中！
(防除指針正誤表等最新情報をご確認下さい)

農薬に関する詳しい情報は，農林水産省ホームページの
「農薬コーナー」をご覧ください。

(<http://www.maff.go.jp/nouyaku/>)